

津房地区の皆様へ  
まちづくり協議会の事務局は  
月・火・木の週三日開いています  
HP: <https://tsubusa.com/>

# 津房地区まちづくり協議会だより

～心かよい 人が輝く ふるさと つぶさ～

第76号 令和6年5月  
発行:津房地区まちづくり協議会  
事務局:津房地区公民館内  
電話:48-2001

## 史跡5カ所に由緒書き看板を設置 宇佐市・地域環境整備事業活用

地区には、いわば『埋もれた文化財』的なスポットが多くあります。

昨年度に続き、これらのスポットの謂れ(いわれ)や文化財としての価値を説明する「由緒書き看板」を設置する事業を行いました。

市の令和5年度「地域環境整備事業」交付金を活用したもので、今回は次の5カ所のスポットを選定し、設置しました。

- ① 尾立維孝の碑 ……尾立
- ② 後藤久氏顕彰碑 ……六郎丸
- ③ 津房地区戦没者慰霊碑 ……板場
- ④ 私塾宝光学舎跡 ……板場
- ⑤ (板場の)六地藏 ……板場

★☆☆☆☆

由緒書きの内容は、この分野に詳しい丸田の小野正雄氏のご協力を得ながらまとめ、設置工事では、当協議会役員の小野清一氏と相原裕氏の全面的協力を得て進めました。

地元の方々、あるいは口コミで訪れたひとが先人の遺徳を偲び、スポットの価値を後世に伝えるうえでの一助となり、津房地区の魅力や誇りの一つとして定着すれば、当事業の趣旨が生かされます。

(各スポットの由緒書きを次号以降の協議会だより順次掲載し、内容を皆さんにご紹介します)



板場の六地藏



尾立 維孝の碑

## 毛無尾共有林・管理業務のご報告

地区共有林の令和5年度・管理業務内容と収支についてご報告します。

### 【事業内容】

1. 殖林や間伐事業など新規着手した事業はなし
2. 役員・区長有志と一般より応募の有志との計14名で、つる切りと現地確認作業を2月18日に実施。

### 【収支関係】

《収入》前期からの繰越金 3,786,763円  
 その他(預金利子、JA配当金) 242円 合計 3,787,005円  
 《支出》事業費(現地確認作業) 32,000円  
 専門委員手当(2人) 24,000円 合計 56,000円  
 収支 = 3,787,006円 - 56,000円  
 = **3,731,006円** が次年度繰越金となります。

### ※ 専門委員1名交替の件

長年お願いしてきた系長好則氏(萱籠)より、山歩きがづらくなり勇退したいとの申し出があり、協議・調整した結果、吉田正一氏(五郎丸)に引き継いで頂くことになりました。系長さん、長年に亘りお加勢いただき有難うございました。本件、事後報告ながら本稿にてお知らせします。

## 当協議会向けふるさと納税のお知らせ

ふるさと納税制度を活用して当協議会を指定されてご寄付頂く「ふるさと納税」ですが、

**令和5年度は 合計 848,000円 もお寄せ頂きました。**

(令和4年度の793,000円より55,000円の増です)

津房にご縁のある方を中心に、当地区のことを気に掛けて戴き、応援して下さいの方々の思いが込められた浄財です。

ご寄付者各位へ本稿を借りて御礼申し上げますとともに、地区民各位を勇気づける朗報としてご報告します

市より全額が当協議会の令和6年度の活動費として交付されますので、ご寄付された方々のご意向に沿える事業で活用し、お応えして参ります。

## 朗報

かつては萱籠集落の一部に群生していたと言われるエヒメアヤマの花、周囲の雑草や樹木の繁茂により集落内では絶滅したと思われていましたが、同集落の周辺部に再生しているのが発見されました。4月下旬に事務局員二人で見学することができました。興味のある方は、事務局員の岡または井福へお問合せください。

## ことしは 東椎屋の滝開きイベント 開催年です

東恵良の地獄極楽とともに、地区の二大観光スポットである東椎屋の滝のシーズン到来を前に、訪れる人々の安全と絶えざる水の恵みを祈願するイベント『滝開きイベント』が開催されます。福貴野の滝と隔年交互開催ですが、ことしは東椎屋の番、下記の日時に開催されます。

\*日時: 6月8日(土) 10:00~12:00 ころ

\*場所: 東椎屋の滝 園地(滝つぼ近く)

イベントでは護摩焚き神事、カメラマニア向け撮影会のほか、津房小学校児童全員による合唱もあり、楽しいひと時となります。

また、お帰りの際には当協議会女性部会で搦いた紅白モチのお土産付きです。

☆ 滑りにくい履物と軽装で、大勢の方がご参加されますよう! ☆

## グリーンカーテン設置支援

津房小学校校舎の南側をゴーヤのカーテンで覆って真夏の暑さを和らげ、副次的に児童がゴーヤの実を収穫体験できて食育にもなる事業を支援するため、前年使用した60個あまりの大型プランタの用土に堆肥や化成肥料、空気を混ぜ込んで土壌改良する作業を5月18日に行いました。

津房小の池田教頭、地域おこし協力隊員の松沢さん、当協議会の役員有志から成る8人で半日掛かりの作業となりました。

後日、児童諸君によりゴーヤが植えられるますが、全教室が立派なグリーンカーテンに覆われ、快適に授業ができれば当事業は大成功!



## 令和5年度 リサイクル資源回収事業のご報告



【収入の部】アルミ缶、古紙、ビン類等の売却金 275780円  
 古紙回収取り組みに対する市・報奨金 59,580円 合計 335,360円

【支出の部】保管庫賃料、不良廃棄物整理費等 21,000円  
 津房小学校への分配金 156,285円 合計 177,285円

【収益金】 335,360円 - 177,285円 = **158,075円**

\*地区のみなさんのご協力により多額の収益となり、当協議会の自主財源確保に大きく寄与しました。みなさんのご協力たいへん有難うございました。